

# ふじいこどもクリニック 院内トリアージ実施基準

2026.1.7

当クリニックにおいて、来院された患者様の症状や重症度を事前に評価し、緊急性の高い患者様が適切な診察や治療を受けられるように、下記の要領で院内トリアージを実施いたします。

## 【算定対象時間】

平日：18時以降、土曜日：12時以降、日曜・祝祭日：終日

## 【院内トリアージの流れ】

1. 来院後、受付時に症状や受診理由を確認します。
2. 看護師や医師が患者様のバイタル等、全身状態の確認を行います。
3. 下記のトリアージ分類表に基づいて緊急度を判定します。トリアージは待ち時間に応じて再評価いたします。

トリアージ分類表（JTASに準拠）		
緊急度判定レベル	症状の特徴や具体例	再評価の目安
蘇生（レベル1）	生命が危ぶまれ、直ちに対応が必要な状態。 持続している痙攣、高度な意識障害や呼吸障害、ショック、重症外傷 等	治療の継続
緊急（レベル2）	生命または四肢・臓器が危篤状態に陥る危険性が高く、早急に初期対応が必要な状態。中等度の呼吸障害（SpO2<92%）や意識障害、重度の脱水症、激しい頭痛や腹痛 等	15分ごと
準緊急（レベル3）	比較的安定しているが、長時間待つことが出来ない状態。 頓挫した痙攣（意識清明）、SpO2 92-94%、変形のある四肢外傷、発熱（具合が悪そう） 等	30分ごと
低緊急（レベル4）	緊急性が低く、診察までに1~2時間程度は待てる状態。 軽度の喘息（SpO2>94%）、発熱（具合がよさそう）、縫合が必要な外傷（止血済み） 等	1時間ごと
非緊急（レベル5）	緊急性や病態の増悪は考えられず、診察まで長時間待てる状態。 包帯交換、縫合の必要のないキズ、処方の継続希望 等	2時間ごと

## 【来院後の主な流れ】

『来院』→『受付』→『院内トリアージ（緊急度判定）』→『診察待機』→『診察・処置等』  
→『帰宅・他病院への紹介・入院依頼』

\* 発熱等の症状で来院された場合は、院内トリアージの際に感染症の迅速検査を行わせていただくことがあります。

\* 院内トリアージの実施基準は必要に応じて随時改定・更新いたします。